

◎ 文部科学省「大学の世界展開力強化事業(タイプB)」に全国で唯一採択

COIL型教育を活用した交流プログラムの構築を支援する「グローバル教育イノベーション推進機構(IIGE)」を開設



今年8月、関西大学の「グローバル・キャリアマインドを培うCOIL Plusプログラム」が、文部科学省の平成30年度「大学の世界展開力強化事業～COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援～」に採択された。

COIL(Collaborative Online International Learning/オンライン国際協働学習)とは、ICTツールを活用しバーチャルに連携しながら、海外の学生とプロジェクト型学習を行う新しい教育実践法。このたび採択されたプログラムは、本学学生と米国の学生がCOIL方式で共に学んだ後、海外現地に赴いて就業体験や企業訪問など多彩な活動に参加し、帰国後、再びCOIL方式で共修することで、自らの将来の可能性を国境や言語、文化の壁を乗り越えて考える力を養成するというもの。

本学は2014年度から国内で唯一のCOILセンター(KU-COIL)を設置してCOIL型教育に取り組んでおり、現在、世界11カ国、



21大学のネットワークを持っている。本プログラムは、そのネットワークを基盤として進化させ、日本のCOIL型教育を推進・先導するプラットフォームとしての役割を果たすことを目指すものであり、交流推進のための基盤拠点を構築する事業が採択されたのは本学のみとなる。



11月1日には、全国のCOIL型教育実践を促進するプラットフォーム「JPN-COIL協議会」の事務局並びに学内外の交流プログラムの構築及び運営を支援する「グローバル教育イノベーション推進機構(IIGE: Institute for Innovative Global Education)」を開設。国内外の高等教育機関と連携し、互いの教育リソースを活用することで相乗効果を生み出すような、新しい国際教育モデルを提唱する。近未来に地球規模で活躍する人材の育成への寄与が期待されている。

◎ 日本・EU国際研究ワークショップ2018開催

KMP 関大メディカルポリマーを活用し、未来医療を牽引する



11月5日、関西大学日本・EU研究センターが設置されているベルギーのルーヴェン大学にて「日本・EU国際研究ワークショップ2018」が開催された。

当日は、2016年度文部科学省私立大学研究ブランディング事業に選定された「『人に届く』関大メディカルポリマーによる未来医療の創出」(KU-SMART PROJECT)から、プロジェクトメンバーが講演を行った。本学からは化学生命工学部の大矢裕一教授、宮田隆志教授、柿木佐知朗准教授、またルーヴェン大学からは医学部のLieven Thorrez准教授が登壇。「生分解性高分子を用いたドラッグデリバリーシステム」など、最新の研究紹介を通じて、医療分野における本学の「ものづくり」の存在感を示した。

◀ルーヴェン大学でプロジェクトの説明をする大矢裕一教授

◎ 広告会社キーパーソンによるパネルディスカッションを開催

広告業界の無限の挑戦

11月16日、「広告会社キーパーソンによるパネルディスカッション」が梅田キャンパスで開催された。

大手広告会社が垣根を越えて集結したこのイベントは、マスコミ業界で活躍する関西大学OB・OG組織「関西大学マスコミ人会」の協力により実現。学生の進路選択や幅広い社会的見識の向上に資することを目的に開催され、広告業界に関心を持つ関西大学学生をはじめ、広告業界関係者ら約120人が出席した。



当日は、大広、電通、博報堂から、それぞれ異なる経歴を持つパネリストが登壇。社会学部の黒田勇教授がコーディネーターを務め、インターネットの急速な普及とデジタル化、市場の多様化に伴い、刻々と変化する、拡大していく広告業界において、パネリストがそれぞれの立場から、自社の取り組みや具体的事例を交えながら、活発な議論が交わされた。

パネルディスカッション後の質疑応答では、広告業界でのやりがいや広告媒体のこれからについて、学生達から次々とあがる質問に対し、パネリストが一つ一つ丁寧に回答し、盛会のうちに終了した。

—あなたが居て、はじまる学園祭—

● 第41回関西大学統一学園祭を開催

2018年度の関西大学統一学園祭が、11月1日～4日、千里山キャンパスで開催された。今年のテーマは「Join us!!!—あなたが居てはじまる学園祭—」。

第41回を迎えた今年は、昨年を上回る10万人が来場。サークルやゼミ等による194もの模擬店やフリーマーケットをはじめ、研究発表やステージ企画、講演会等、さまざまなイベントや催しでにぎわいを見せた。1日にはアキナやスーパーマドーナ、吉田たちらがお笑いライブを披露。2日にはKEYTALKとキュウソネコカミを迎えてのライブ演奏、4日にはベッキーによるトークショーも開催され、連日、会場は熱気に包まれた。更に、統一企画構成委員会が運営する毎年恒例の目玉企画「K.U.ROCK FEVER 16th」、「Kandai Dance Festival2018」、「お笑い王決定戦」も行われ、観客も巻き込みながら圧巻のパフォーマンスが繰り広げられた。4日の夕方には、心響地をコンセプトとする「後夜祭」が悠久の庭にて開催され、約2,000人が結集して感動のフィナーレを迎えた。